

**就労継続支援A型 基本報酬に関する届出書  
及び自己評価結果等の公表に係る届出書**

1 事業所情報

事業所番号	4017800642									
事業所名称	キッチン創造館									
事業の種別	●	就労継続支援A型	指定年月日	H20	年	12	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	●	有	無	公表年月日	R3	年	4	月	14	日
公表方法 (該当するものに●)	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)								
		URL	<a href="https://souzoukan.nrt/pdf/score-kitchen">https://souzoukan.nrt/pdf/score-kitchen</a>							
		その他 (具体的な方法を記載してください)								
		具体的な方法								

3 基本報酬算定区分

※以下自動入力。

評価点合計

	170点以上
	150点以上170点未満
●	130点以上150点未満
	105点以上130点未満
	80点以上105点未満
	60点以上80点未満
	60点未満
	なし (経過措置対象)

評価事項	評価内容	スコア
I 労働時間	四時間以上四時間三十分未満	40
II 生産活動	前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
III 多様な働き方	合計点が六点又は七点である	25
IV 支援力向上のための取組	合計点が八点以上である	35
V 地域連携活動	実施あり	10

スコア合計 (評価点) **135** 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2 - 1 の各様式を用いて行ってください。地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2 - 2 の様式を使用してください。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	キッチン創造館
住所	北九州市小倉北区大倉1-7-25
電話番号	093-512-5777

事業所番号	4017800642
管理者名	唐川 正利
対象年度	令和4年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	●	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		25 点
①前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賞金の総額以上		
②前年度において生産活動収支が利用者に支払う賞金の総額以上	●	
③前年度において生産活動収支が利用者に支払う賞金の総額未満		
④前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賞金の総額未満		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(III) 多様な働き方（※）		25 点
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		
就業規則等で定めている	●	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	●	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	●	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●	
小計（注1）		7
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

（※）任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(IV) 支援力向上（※）		35 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上であった		
参加した職員が半数以上であった	●	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		
2回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
どちらか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている	●	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	●	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	●	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計（注2）		8

（※）任意の5項目を選択すること (注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	●	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点	25点			40点		25
多様な働き方	0点		15点	25点			35点		25
支援力向上	0点		15点	25点			35点		35
地域連携活動	0点			10点					10

合計	
135	点 / 200点

指定就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (個別項目)

I 平均労働時間 40 点

実績として評価する年度			年度
月	延べ労働時間数	延べ利用者数	
4月	6542 時間	1532 人	
5月	6857.75 時間	1613 人	
6月	6672.25 時間	1562 人	
7月	7031.25 時間	1653 人	
8月	7024 時間	1653 人	
9月	6645.5 時間	1559 人	
10月	6825 時間	1600 人	
11月	6479.75 時間	1514 人	
12月	6686.75 時間	1567 人	
1月	6733.75 時間	1572 人	
2月	5834.5 時間	1352 人	
3月	6717.5 時間	1564 人	
合計	80050 時間	18741 人	

評価内容			スコア
就労継続支援 A 型等のあった日の属する年度の前年度 (以下、「前年度」という)において、当該就労継続支援 A 型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援 A 型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援 A 型事業所等における一日当たりの平均労働時間数			
一	七時間以上		80
二	六時間以上七時間未満		70
三	五時間以上六時間未満		55
四	四時間三十分以上五時間未満		45
●	四時間以上四時間三十分未満		40
六	三時間以上四時間未満		30
七	二時間以上三時間未満		20
八	二時間未満		5
1日の平均労働時間数 (延べ労働時間数 ÷ 延べ利用者数)		4.3	時間

II 生産活動 25 点

実績として評価する年度		令和 4 年度及び	令和 3 年度	
	生産活動収入 (A)	生産活動に係る経費 (B)	生産活動収支 (A)-(B)= (C)	利用者賃金総額 (D)
4 年度	193,814,839	115,461,700	78,353,139	72,535,013
3 年度	160,744,948	100,885,796	59,859,152	68,834,313

※ 経営実態調査時に提出した同年度の「生産活動収支報告書」の内容と一致しているか確認してください。

評価内容		スコア
前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支 (生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額)		
一	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
●	前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
三	前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
四	各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

Ⅲ 多様な働き方

25 点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点(五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。)  
**※任意の5項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入**

イ	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		取組の具体的な内容
	●	1 就業規則等で定めている	◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数●名 ※取得を進めた免許等：○○○ ○○○ 制度の活用内容：○○○ ○○○
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ロ	②利用者を職員として登用する制度		取組の具体的な内容
	●	1 就業規則等で定めている	◎職員として登用した人数●名 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している ※登用した日 ●年 ●月 ●日 勤務形態：○○○ 就業時間： ●時●分～●時●分 職務内容：○○○
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ハ	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		取組の具体的な内容
	●	1 就業規則等で定めている	◎在宅勤務を行った人数●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間(在宅勤務)：●時●分～●時●分 職務内容：○○○
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ニ	④フレックスタイム制に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1 就業規則等で定めている	◎フレックスタイム制を活用した人数●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間(コアタイム)：●時●分～●時●分 職務内容：○○○
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ホ	⑤短時間勤務に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1 就業規則等で定めている	◎短時間勤務に従事した人数●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間(短時間)：●時●分～●時●分 職務内容：○○○
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ヘ	⑥時差出勤制度に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1 就業規則等で定めている	◎時差出勤制度を活用した人数●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間(早出の場合)：●時●分～●時●分 就業時間(遅出の場合)：●時●分～●時●分 職務内容：○○○
		2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
ト	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		取組の具体的な内容
		1 就業規則等で定めている	◎時間単位取得を活用した人数67名 ◎計画的付与制度を活用した人数67名 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間：4月1日～3月31日 取得日数・時間 920日 3989.5時間
	●	2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		
チ	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		取組の具体的な内容
		1 就業規則等で定めている	◎傷病休暇等を取得した人数2名 ※取得した内容： 取得した期間：8月23日～11月23日 3月1日～3月19日 就業時間： 6時00分～15時00分 9時15分～16時00分 職務内容：職業指導員 生活支援員
	●	2 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
	0 実績なし		

合計点 7 点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
一	合計点が八点以上である	35
● 二	合計点が六点又は七点である	25
三	合計点が一点以上五点以下である	15

IV 支援力向上のための取組

35 点

前年度 ( トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間 ) において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数 ( 以下この事項において「合計点」という。 ) ※任意の 5 項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入

イ	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		取組の具体的な内容
	1	参加した職員が 1 人以上であった	◎研修実施回数外部 1 回 / 内部 1 回 対象職員数 29 人 うち研修受講者数 16 人 ※研修名 発達障害について 研修講師 白川 嘉継 実施日・受講者数 R4 年 6 月 19 日
	● 2	参加した職員が半数以上であった	
0	実績なし		
ロ	②研修、学会等又は学会誌等において発表		取組の具体的な内容
	1	1 回の場合	発表している回数 回 ※研修、 実施日 ※学会誌等名 発表日 発表テーマ
	2	2 回以上の場合	
● 0	実績なし		
ハ	③視察・実習の実施又は受け入れ		取組の具体的な内容
	1	どちらか一方のみの取組を行っている	※先進的事業者名 実施日 / 参加者数 2 月 16 日 2 人 ※他の事業所名 社会福祉法人 あきの会 みかんの樹 実施日 / 参加者数 3 月 13 日 2 人
	● 2	いずれの取組も行っている	
0	実績なし		
ニ	④販路拡大の商談会等への参加		取組の具体的な内容
	1	1 回の場合	※商談会等名 学院販売会 主催者名 小倉リハビリテーション学院 日時 8 月 4 日 10 月 4 日 内容 バイクング料理、パーティ料理について
	● 2	2 回以上の場合	
0	実績なし		
ホ	⑤職員の人事評価制度		取組の具体的な内容
	● 2	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	人事評価制度の制定日 H27 年 6 月 17 日 人事評価制度の対象職員数 45 名 うち昇給・昇格を行った者 7 名 当該人事評価制度の周知方法 就業規則
	0	実績なし	
0	実績なし		
ヘ	⑥ピアサポーターの配置		取組の具体的な内容
	2	ピアサポーターを職員として配置している	※配置期間 ●月●日～●月●日 就業時間 職務内容 ○○○
	0	実績なし	
0	実績なし		
ト	⑦第三者評価		取組の具体的な内容
	2	過去 3 年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	※評価を受けた日 ●月●日 第三者評価機関 ○○○
	0	実績なし	
0	実績なし		
チ	⑧ I S O が制定したマネジメント規格等の認証等		取組の具体的な内容
	2	都道府県知事が適当と認める I S O が定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	※認証を受けた日 ●月●日 規格等の内容 ○○○
	0	実績なし	
0	実績なし		

合計点 8 点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
● 一	合計点が八点以上である	35
二	合計点が六点又は七点である	25
三	合計点が一点以上五点以下である	15

V 地域連携活動

10 点

※「公表方法」、各要件の「有」の合計 4 つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容				
前年度において、当該就労継続支援 A 型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。				
報告書の作成	●	有	無	※次ページに添付
企業等からの意見等	●	有	無	
公表の有無	●	有	無	
公表方法	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)		
		URL	<a href="https://souzoukan.nrt/pdf/score-kitchen">https://souzoukan.nrt/pdf/score-kitchen</a>	
		その他 (具体的な方法を記載してください)		
		具体的な方法		

## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	キッチン創造館
住所	北九州市小倉北区大島1丁目7-25
電話番号	093-512-5777

事業所番号	4017800642
管理者名	唐川 正利
対象年度	令和4年度

### 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p><b>活動場所</b> 北九州市小倉南区葛原東2丁目2-10  <b>実施日程</b> 9月4～9/15・11月6日～11月17日  <b>実施した生産活動・施設外就労の概要</b>                  バイキング料理、パーティー料理、豪華弁当等  <b>利用者数 等</b> A型利用者</p>
<p>&lt;目的&gt; <b>地域連携活動のねらい</b>                  色々な料理が選べる楽しさや販売拡大の宣伝  <b>地域にとってのメリット</b>                  外出しなくて美味しい料理が味わえる  <b>対象者にとってのメリット</b>                  普段では味わえないパーティー料理の楽しさ</p>
<p>&lt;成果&gt; <b>実施した結果</b>                  学業だけではなく食事の楽しみが増えた  <b>得られた成果</b>                  生徒より低価格でパーティー料理が食べられることが嬉しかった  <b>課題点</b>                  お客様のニーズに対応できるよう商品開発に努める</p>



### 連携先の企業等の意見または評価

<p><b>連携した結果に対する意見または評価</b>                  生徒の為に日頃味わえない食事を提供してもらいありがとうございました。                  イベント料理の食事により生徒の学校生活の楽しみが増えたと思います。  <b>今後の連携強化に向けた課題</b>                  今後も色々なイベントを考えて生徒の楽しみを増やしたいと思います。</p>
--

連携先企業名	小倉リハビリテーション学院	担当者名	山名 伸
--------	---------------	------	------